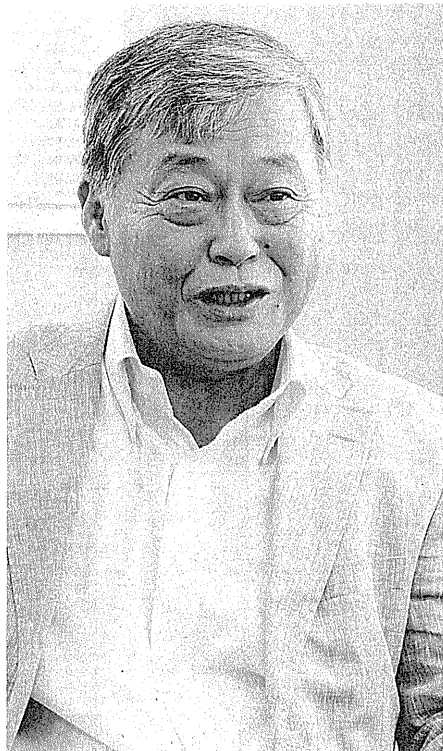


清水合金製作所が描く 被災水道事業体支援のあり方

小型膜ろ過浄水装置 アクアレスキュー編

西日本を中心に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨の発生は水道事業体の規模の大小を問わず、広域的かつ甚大な被害を各地でもたらした。特に豪雨によって濁り度や原水質の変動や、水道施設の破損等による被害が多く確認されており、被災事業体には迅速な被災対応の実施が求められ、今後の復旧に向けた検討が急務と進められている。一方で被災事業体を支える水道界の民間企業においても迅速な支援の実施を通じて、一歩でも早い安全な水の供給に貢献する動きが見られた。今回は、バルブメーカーでありながら、膜ろ過装置の開発・製造・販売を手がける清水合金製作所、和正代表取締役社長、藤原氏が考える災害時支援における民間企業のあり方、支援を受けた事業体の声を聞く。

「平成30年7月豪雨」(以下略)を感じています。西日本豪雨(の被害)も、また、マスメディアの報道では被害の大きかった地域を中心に紹介する傾向もあって、山間部や被災地に近い地域では被害が起きているものの「フコウ」が当たったような、高層階の被害も目撃されています。一方で、山間部や被災地に近い地域では被害が起きているものの「フコウ」が当たったような、高層階の被害も目撃されています。



清水合金製作所 代表取締役社長 和田 正憲氏に聞く

規模や施設状況に応じた対策が不可欠

「アクアレスキュー」は、限られたスペースに設置可能な小型膜ろ過装置「アクアレスキュー」を開発・展開しています。この装置は、被災地での水確保に大きく貢献しています。また、被災地での水確保に大きく貢献しています。

有償無償問わずいち早い水確保に寄与

「アクアレスキュー」は、被災地での水確保に大きく貢献しています。また、被災地での水確保に大きく貢献しています。有償無償問わずいち早い水確保に寄与しています。

負担軽減や施設健全性を高める支援を

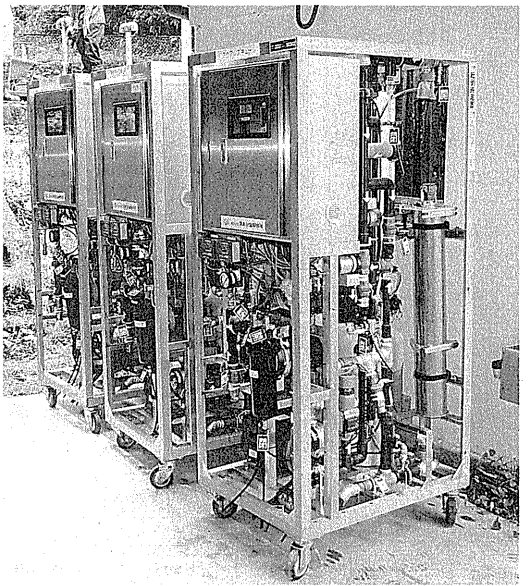
「アクアレスキュー」は、被災地での水確保に大きく貢献しています。また、被災地での水確保に大きく貢献しています。負担軽減や施設健全性を高める支援をしています。

支援事例①

木曾町
長野県木曾町は平成17年11月に木曾藩邸・日善村・開田村・三岳村の4町村の合併で誕生した。長野県の南西部に位置し、奥平町最大面積は476.03平方キロメートル。東西に中央アルプス木曾駒ヶ岳、木曾御嶽山が並び、町の中央には木曾川が流れており、総面積の90%を山林が占める緑豊かな山間の町となっている。

木曾町

木曾町水事課(特)に重なる被害を受けたのは、本町浄水場系、屋敷野浄水場系、の2箇所。このうち屋敷野浄水場は、ろ過・凝集・沈降・消毒の工程を備えているが、平成30年7月の豪雨により、ろ過槽が破損し、ろ過機能が低下した。また、ろ過槽の排水が逆流し、浄水槽の水質も悪化した。



スペースの限られた屋敷野浄水場に3台を設置

既設対応困難な原水に対応

から100度まで上昇し、既設施設では処理できない状況に陥った。そこで他浄水場の浄水場へ水を供給し、ろ過槽に注ぎ、ろ過槽の水質を確保する。また、ろ過槽の水質を確保する。また、ろ過槽の水質を確保する。

支援事例②

真庭市
真庭市は、平成17年に旧真庭郡湯原町・湯原町・湯原町・湯原町を合併し、平成16年度より現行の真庭市となっている。湯原町・湯原町・湯原町・湯原町を合併し、平成16年度より現行の真庭市となっている。

真庭市

真庭市は、平成17年に旧真庭郡湯原町・湯原町・湯原町・湯原町を合併し、平成16年度より現行の真庭市となっている。

レンタルで濁り度変化克服

「アクアレスキュー」は、被災地での水確保に大きく貢献しています。また、被災地での水確保に大きく貢献しています。レンタルで濁り度変化克服に貢献しています。

「アクアレスキュー」は、被災地での水確保に大きく貢献しています。また、被災地での水確保に大きく貢献しています。レンタルで濁り度変化克服に貢献しています。